令和6年度 事業報告書

インボイス制度、フリーランス法の施行に伴う契約方式の変更により、町内民間事業所に係る発注者の経費負担が増加することとなり、契約額の減少が懸念される状況であり、なお一層の事業の開拓、会員の増強により対応していく必要がある。

このような状況の下で、当センターの事業実績（派遣は含まない）は受託件数 1,415 件、金額 1 億 1,347 万円、就業延人員で 17,869 人となった。

事業費で比較すると漂着ゴミ等の処分費等が算入されているため、配分金で比較すると、令和4年度が 7,874 万円、令和5年度が 7,763 万円、令和6年度が 8,052 万円となり、前年と比較するとプラス 3.7%となる。プラス要因の主なものとしては、田んぼの草刈り作業の依頼が大幅に増となったことによるものと考えられる。

会員数については、一番効果のある会員が友人・知人に入会を勧めていただくなど 23 人の新規会員の確保に取り組んだものの、24 人が退会となったことにより 1 人減となっている。

また、委託事業の発注者別の割合は、前年度同様に公共事業が約 50%を占めていることから、町内民間事業所関係、一般家庭等の受注を増やしていくことが肝心と思われる。

高齢化や人口減少が急速に進む中において、この状況に対応した、会員への就業を提供することを通じて、生きがいの充実、健康の維持や生活の安定、地域社会への貢献を目的とするシルバー人材センターの役割は更に重要なものとなっている。

事業実績について

1 会員拡大について・・・目標会員数 260 名

会員数は、240 名前後で推移しており、定年延長、再雇用等により 60 歳代の新規会員の確保が厳しい現状ではあるが、会員の友人・知人への入会勧誘の甲斐もあり、会員拡大に取り組んでいる。しかしながら、高齢化等による退会者も増えていることから、目標の達成には近づけていない。

2 就業機会の確保・拡大・・・配分金目標額80,000千円

本年度の配分金目標額は達成できたものの、冬期間における就業機会の確保が例年の課題であり、各事業所へ冬期間の就業機会拡大について積極的に取り組んでいかなければならない。

3 安全就業対策・・・目標「事故ゼロ」

本年度の安全講習会は、10月9日に草刈り作業をする会員を対象に、草刈刃実演会を開催し、15名の受講をいただいた。11月20日には、刈払機作業従事者安全衛生教育講習を開催し、21名の方に資格を取得してもらった。

また、機械等を扱う就業時の安全対策として、安全靴やフェイスガード等の購入費助成と併せて、夏場の暑さ対策として、ファン付き作業服やドライシャツ等の購入助成を実施し、18名に82千円の補助を行うことができた。

しかし、就業中に熱中症を発症した会員が4名おり、うち1名が救急搬送されることとなったことから、今後の猛暑に対し、熱中症警戒アラートが発表された場合における各作業の実施対策を検討することが重要になっている。

4 スマートフォンの活用について・・・目標受講率50%

スマホ講習会を10月24日に開催し、少人数ではあったが23名の受講をいただいた。smile登録の会員が約半数となり、仕事に関する情報や配分金明細書の情報が閲覧できるペーパーレス化により、郵送料の削減や郵送事務の軽減が図れている。

5 独自事業について

軽食喫茶「湖畔」並びに本年3月1日よりレークセンター内の喫茶「五湖カフェ」を運営している。湖畔については、健康志向の高まりからげんげん弁当の注文が増えつつある。また、五湖カフェについては、地域のコミュニティーの場としての役目も目指しており、地元の方々の利用も増えてきている。